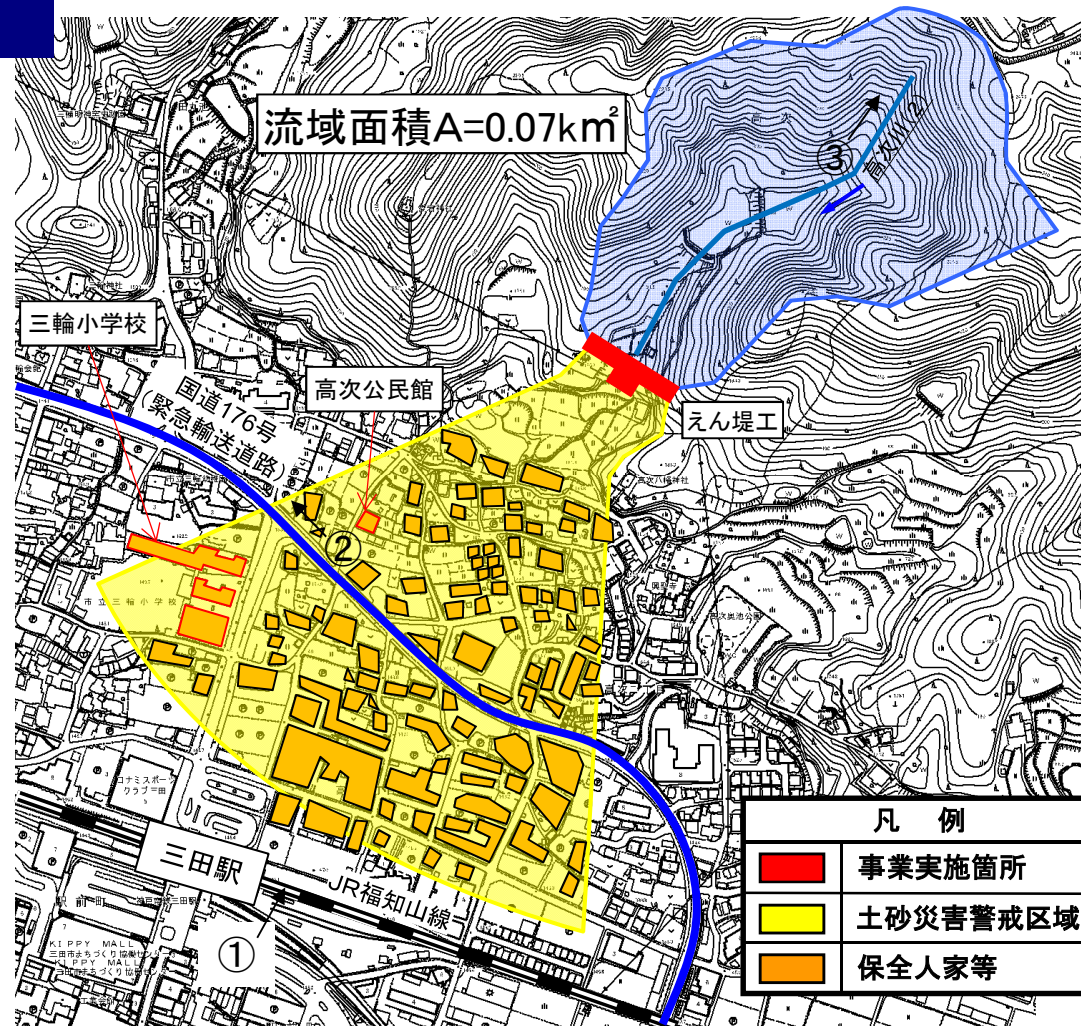


## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 石田博彰 (主幹 (防災担当) 小倉正大)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
砂防事業	通常砂防事業 たかさぎ 高次川（2）	三田市高次 たかさぎ	2.0億円	0.1億円	平成30年度	平成32年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、土石流発生の危険性が高いことから、土砂災害警戒区域となっており、保全対象は人家123戸、緊急輸送道路である国道176号、三輪小学校及び公民館などがある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>砂防えん堤工 1基 (高さ 10.0m, 延長 70.0m) 【負担割合】 国・県：各50%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 高次川(2)は、(二)武庫川水系武庫川に流入する土石流発生の危険性が高い溪流(JR三田駅より北東へ約0.6km)である。</p> <p>② 近年の降雨により溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行している。</p> <p>③ 溪床には堆積土砂が多く、大雨時に多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性  (執行環境状況)	<p>① 警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>② 地元要望が強く、工事用進入路の確保など、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	① 地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。					
(4) 優先性	① 保全対象には人家123戸、緊急輸送道路である国道176号、三輪小学校及び公民館がある。また、溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。なお、三輪小学校については事業完了後に三田市が避難所に指定する予定である。					

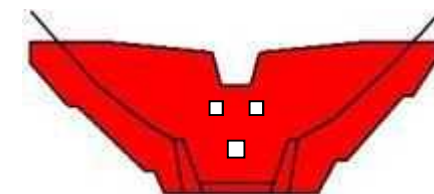
# 通常砂防事業



たかすぎ  
高次川(2)  
たかすぎ  
三田市高次  
総事業費: 2.0億円  
事業期間: H30~H32

保全対象  
保全人家: 123戸、  
国道176号、三輪小学校、  
高次公民館

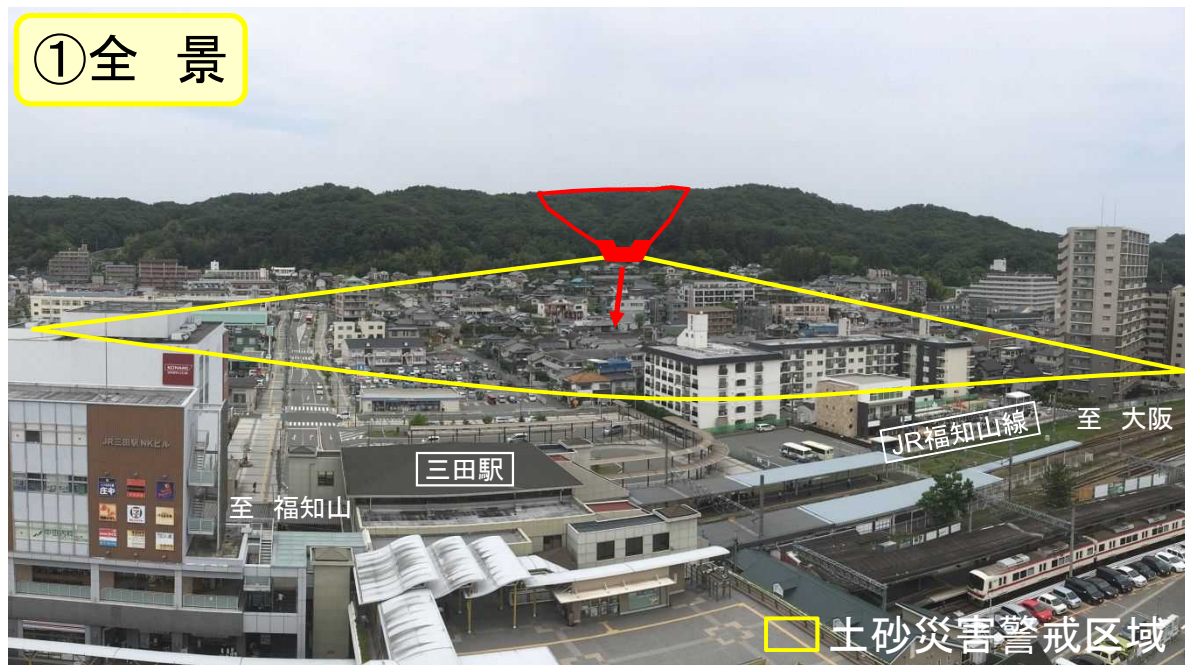
凡例	
	事業実施箇所
	土砂災害警戒区域
	保全人家等



えん堤工 高さ10.0m、延長70.0m

# 通常砂防事業【高次川(2) (三田市)】

## ① 全 景



## ② 保全対象 国道176号



## ③ 溪流荒廃状況



## 事業工程

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
詳細設計	■■■■		
用地買収等		■■■■	
えん堤工			■■■■